

学習カードの活用について

奥山 利彦 (柏) 伊崎 美来 (葛南) 小沼 隼人 (葛北) 窪田 一城 (印旛)
 藤ヶ崎 逸人 (香取) 嶋田 千尋 (東総) 齋藤 健吾 (山武)

1 はじめに

本グループでは、思考力・判断力・表現力の育成のために、より効果的な学習カードの活用について話し合いを進めた。学習カードについては、各々が日常的に授業で活用しているが、運動量の確保との兼ね合いが難しいと感じたり、生徒のまとめ等を見たときに、ポイントがずれていると感じたりすることがあった。しかし、「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの四過程に含まれている「見いだす」「まとめあげる」における指導・支援を充実させるためには、学習カードの効果的な活用が求められると考える。また、千葉県の授業改善「キーワード」に「自分の言葉で学習のまとめを書く」が挙げられていることから、学習カードの内容の工夫は必要なものと思われる。そこで、各自の実践をもとに、思考力・判断力・表現力の育成により効果的な学習カードについて検討・紹介していくこととした。

2 実践例

(1) まとめを穴埋めの形で行う

＜陸上競技＞

個人目標記録の設定
 初期の記録 目標記録

日付	記録	気づき (リレーの順番、インターバルの設定など)
1/1		
1/2		
1/3		
1/4		
1/5		
1/6		
1/7		
1/8		
1/9		
1/10		

＜目標記録の設定資料＞

★リレー★
 リレー走者の50m走合計タイム-リレータイム= 秒
 A: ~2.5秒以上 B: 2.4~1.6秒 C: 1.4秒~

★ハードル走★
 50m走タイム+X= 秒
 X A: 1.5秒 B: 2.0秒 C: 2.5秒 で評価する

★走り高跳び★
 (身長+2)-(50m走タイム×10)+120= cm

★走り幅跳び★
 男子: 93.4, 5-(70.4×50m走タイム) = cm
 女子: 86.8, 8-(64.3×50m走タイム) = cm

陸上競技: 1

＜目次＞

知 識: _____

技 術: _____

特 長: _____

主要の要素: _____

＜学習の記録＞

日付	学習内容	授業の振り返り (例: ○を調整して走り込んだ結果○が出来るようになった。 例: ○が難しくなったので、学習○を調整しよう。) *
1/1		
1/2		
1/3		
1/4		
1/5		
1/6		
1/7		
1/8		
1/9		
1/10		
1/11		
1/12		

＜振り返り・感想＞

..... 各単元に集めた振り返りシートを..... 授業振り返りシート

..... 授業の振り返りシートを..... 振り返りシート

..... 振り返りシートを..... 振り返りシート

..... 振り返りシートを..... 振り返りシート

単元の振り返りを短文・穴埋めの形で書かせた。学習カードは全単元で同じ形式とし、年度初めに配付・綴込みを行い、年間を通して使用した。

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○評価がしやすい。(働き方改革、業務改善の点からも) ○単元の振り返りで、思考力等につながらないような内容を記入する生徒が減った。 ○まとめの際に、重要語句や技能の名称・ポイント等を振り返るきっかけとなっている。 ○短文・穴埋めのため、時間短縮できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○慣れるまで難しさを感じる生徒がいた。 ○教員側が、生徒に考えさせたいこと、伝えたいこと等を、授業内で繰り返したり、知識の定着も意識したりしながら授業を進める必要がある。 ○ゲームを行う前にキーワード・ポイント等が十分に伝わっていないと、十分な内容が書けない。

(2) 仲間からのアドバイスや、話し合ったことを記入する

アルティメット 学習カード				
チーム 年 組 番 氏名				
個人の目標		思考・判断・表現	態度	
いらいな仲間からアドバイスをもらう		相手の意見を聞き取る	見守りながらサポート	
時間	月日	ねらい	良かった点・悪かった点 次回に向けて	MEMO 仲間からのアドバイス・ポイント等
①	10/11	アルティメット 練習について いろいろ	いろいろアドバイスを もらったので、次回は もっと練習しよう	10/11は、10/11に2回 アドバイスを受けたので、 練習しよう
②	10/16	パスの練習 パスの練習	パスの練習をした うまくなったので、 練習しよう	パスの練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
③	10/17	パスの練習 パスの練習	パスの練習をした うまくなったので、 練習しよう	パスの練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
④	10/20	パスの練習 パスの練習	パスの練習をした うまくなったので、 練習しよう	パスの練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
⑤	10/24	パスの練習 パスの練習	パスの練習をした うまくなったので、 練習しよう	パスの練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
⑥	10/25	仲間と練習 仲間と練習	仲間と練習をした うまくなったので、 練習しよう	仲間と練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
⑦	10/26	パスの練習 パスの練習	パスの練習をした うまくなったので、 練習しよう	パスの練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
⑧	10/27	パスの練習 パスの練習	パスの練習をした うまくなったので、 練習しよう	パスの練習をしたので、 うまくなったので、 練習しよう
⑨	/			
⑩	/			

ミーティングボード 3回目

1年 / 組 A チーム

[チームの課題]

技術・作戦・ポジション

- 味方にパスが通らない。
- 正確にパスが通らない。
- キャッチミスが多い。

[練習内容]

メニュー：対面パス

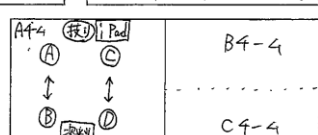
目的：パスを正確に通すため

方法：①チーム内で2人組を作る。

- ②相手の正面にパスを出す。(基本はバックパス)
- ③擋り手チームを確認
- ④キャッチャーチームを確認

※技能リーダーを中心にチームで確認しながら行う。

[練習用ボード]



準備するもの
○パス×3枚
○コリを貼った資料
○iPad×1台

[本時の成果]

- パスが通りやすい仲間を選んでパスを出すことでパスが通った。
- スローもキャッチャーチームが悪かった。パス練習でチームを意識することで良かった。

[チームの課題]

技能・作戦・ポジション

- パスを持っていない人がずっと相手にマークされてパスが通らなかった。
- 自分からフリーの状態になっていない。

毎時間の振り返りで仲間からのアドバイスを記入したり、グループで話し合ったことをまとめたりする形で行った。

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○仲間に助言・アドバイスをする生徒が増えた。 ○ミーティングボードを用いてチームの課題や練習メニュー、作戦などを生徒自身が考えながら学習を進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の言葉で記入することが難しい生徒がいた。 ○毎時間のねらいに対しての練習等を宿題として出していたので、生徒への負担は大きくなった。

(3) 資料をもとに目標を立てさせたり、活動の参考にさせたりする。

記録換算表～男子用～				
1500m	1周	1500m	1周	
35	8'25	84	81	6'10
36	8'23	83	82	6'07
37	8'19	83	83	6'05
38	8'15	82	84	6'03
39	8'10	81	85	6'00
40	8'05	81	86	5'58
41	8'02	80	87	5'55
42	7'58	88	88	5'54
43	7'55	78	89	5'52
44	7'52	78	90	5'50
45	7'48	81	91	5'48
46	7'45	77	92	5'45
47	7'42	77	93	5'45
48	7'39	76	94	5'44
49	7'35	76	95	5'42
50	7'33	75	96	5'40
51	7'30	75	97	5'38
52	7'28	74	98	5'36
53	7'24	74	99	5'35
54	7'20	73	100	5'34
55	7'15	72	101	5'32
56	7'10	71	102	5'30
57	7'05	70	103	5'28
58	7'00	70	104	5'26
59	6'58	69	105	5'25
60	6'56	69	106	5'23
61	6'54	68	107	5'21
62	6'52	68	108	5'20
63	6'50	68	109	5'19
64	6'48	67	110	5'18
65	6'45	67	111	5'17
66	6'43	66	112	5'16
67	6'40	66	113	5'15
68	6'39	66	114	5'13
69	6'37	66	115	5'12
70	6'35	65	116	5'11
71	6'34	65	117	5'10
72	6'32	64	118	5'08
73	6'29	64	119	5'07
74	6'27	64	120	5'06
75	6'25	63	121	5'05
76	6'23	63	122	5'03
77	6'20	62	123	5'01
78	6'17	62	124	5'00
79	6'15	62	125	4'59
80	6'13	61		

記録換算表～女子用～				
1000m	1周	1000m	1周	
26	7'00	84	61	4'25
27	6'52	82	62	4'23
28	6'44	80	63	4'22
29	6'36	79	64	4'19
30	6'28	77	65	4'17
31	6'20	76	66	4'15
32	6'14	74	67	4'13
33	6'07	73	68	4'12
34	6'00	72	69	4'11
35	5'55	71	70	4'09
36	5'45	69	71	4'07
37	5'35	67	72	4'06
38	5'25	65	73	4'05
39	5'18	63	74	4'04
40	5'15	62	75	4'03
41	5'12	62	76	4'02
42	5'08	62	77	4'00
43	5'05	61	78	3'59
44	4'58	61	79	3'58
45	4'57	59	80	3'57
46	4'55	58	81	3'56
47	4'53	58	82	3'55
48	4'51	57	83	3'54
49	4'49	57	84	3'53
50	4'47	57	85	3'52
51	4'45	56	86	3'51
52	4'43	56	87	3'50
53	4'41	56	88	3'49
54	4'39	55		
55	4'37	55		
56	4'35	54		
57	4'32	54		
58	4'30	53		
59	4'28	53		
60	4'27	53		

●見方
①シャトルランの記録を確認
②その記録簿に記されているタイムを見る
(基準記録) ←これがノルマ!
③基準記録より速いタイムを目標タイムとして設定する

私の目標記録は 分 秒 です。

1時間目 () m タイムトライアル

月 日 ()

< 学習の記録 >

今日のめあて

記録者 ()

自分の力を知ろう (1000m)

各周ごとの記録	
1	① 秒
2	② 秒
3	③ 秒
4	④ 秒
5	⑤ 秒
6	⑥ 秒

学習の成果と課題

目標タイム 実際のタイム

今日の記事

分 秒

心拍数

回/分

<自己評価> ○をつける

- ① まじめな態度で積極的に取り組めた
- ② ウォームアップとクールダウンをしっかりと行えた
- ③ お互いにアドバイスし励まし合えた
- ④ 全力を出し切れた

<ペアからのアドバイス>

長距離走の学習では、記録の換算表を作成し、シャトルランの記録を基に目標を立てさせた。他にも、ウォーミングアップやクールダウンに関する資料を載せた。また、ペアからのアドバイスを記入する欄を作った。

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○換算表を載せることで、生徒が目標を立てやすくなった。 ○ペアからのアドバイスを記入させることで、自分では気付くことができなかつたことに気付き、次の走りに生かすことができた。 ○ウォーミングアップとクールダウン等の資料を載せることで、その意味や重要性に気付くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○記録役の生徒がきちんと記入できないことがあった。 ○枚数が多いため、どのページか生徒にとって分かりづらくなる場面があった。 ○書く項目が多いため、授業内で書ききれないが多かった。

(4) グループで目標や振り返りを記入する。

ソフトボール 作戦カード (チーム名:)

目標: 声かけ合いながら楽しくやる

<p style="text-align: center;">攻撃の目標</p> <p>例: 次の打者につなぐバッティングを意識する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴロを打って、足を使った攻撃をする ・次の塁を常にねらう。 	<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴロのアウトがとれていたら、からだから、キャッチボールをし、かりする。 ・積極的にバットを振れていたので ・フライの判断ミスがあったので改善したい
<p style="text-align: center;">守備の目標</p> <p>例: ボールをとってから慌てない 声を掛け合いお見合いをしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ベースアウトをとる ・声かけをし、かりする 	

打順	ポジション	氏名	打撃成績				ヒット (記入例)	
			H	H	3H	X	ヒット	H
1	3	-	H	H	3H	X	2ベースヒット	2H
2	8	...	X	X	X	X	3ベースヒット	3H
3	6	-	X	H	2H	X	ホームラン	HR
4	1	!	2H	2H	HR		三振アウト	X
5	4		X	X	H		フォアボール	△
6	5		H	△	△		☆打撃成績の記録は上記のように記入する	
7	2		△	△	X		☆打順は試合途中で変更はできません	
8	9	-	X	2H	△		☆バットを投げたら打者はアウト・人に当たったら退場	
9	7		X	X	X			

グループ単位で学習カードの記入を行うようにした。グループでの練習の時間を多く取り入れ、リーダーを中心にチームの目標と課題を話し合い、試合で意識することやそのための練習を計画して学習を進めた。

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーを中心に目標・課題を話し合い、試合に向けたチーム練習にも活用できていた。 ○自分たちで考えることで、苦手な生徒も積極的に参加する姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いと運動量のバランスを考えた際に、授業内で個人の目標を立てたり、振り返ったりする時間をとることが難しかった。

(5) 練習方法を自分たちで調査し、計画・実施する

サッカー 学習カード			
1. 学習の記録			
No	日付	内容	振り返り(成果と課題を具体的に)
1	2/18	ボールタッチ (パス練習) ハーフコートゲーム	パスのコントロールが上手に出来た ドリブルのスピードが速くなった ゴールキーパーの役割が分かった
2	2/19	ボールタッチ (パス練習) ハーフコートゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった
3	2/24	ボールタッチ (パス練習) ハーフコートゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった
4	3/3	ボールタッチ (パス練習) ハーフコートゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった
5	3/7	ボールタッチ (パス練習) ミニゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった
6	3/15	ボールタッチ (パス練習) ミニゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった
7	3/19	ボールタッチ (パス練習) ミニゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった
8	3/20	ボールタッチ (パス練習) ミニゲーム	パスのスピードが速くなった ドリブルのコントロールが上手になった ゴールキーパーの役割が分かった

6. 練習方法の調査	
パス、シュート、1vs1、2vs2等、調べて図や進め方を書きましょう。	
名称、図	進め方、ポイント
	1分ごとに選手を交代 練習は5分 2つずつ月1回 一分たったらゴールにいく 90秒たったら鬼が来る
	ゴール横1対1を2回か 3回か。1対1は攻撃側の人が 守る 攻撃側はゴールにいく 早い持たせとまてていく 一人だけ

主に球技の学習で、練習方法を分担して調べ、いつ・何の練習を行うかグループで計画し、実際に練習を進めた。練習の説明・進行は、その練習方法を調べた生徒が行った。また、練習を進めていく中でうまくできたことや改善が必要なことを発表させ、次の時間の担当者に意識させることができたようにした。

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○活動内容の決定を各グループに任せため、個々の実態に応じた練習を行うグループが見られた。 ○個人・グループの実態を把握し、改善しようとする姿勢が多く見られた。 ○体力・技能の高め方について、どのようなものが効果的なのか考える姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○未経験者が多い単元では、調べた練習を行うことでどのように体力・技能が高まるのかイメージしづらいようであった。 ○グループ編成では配慮が必要だと感じた。 ○任せきりにせず、状況に応じて助言する等の支援が必要であるが、手を貸しすぎても効果は半減する。「支援する」と「任せる」ことの兼ね合いが難しいと感じた。

3 まとめ

実践についてまとめていく中で、やはり教員が生徒に考えさせたいことと身に付けさせたい力を明確にし、単元全体・毎時間をイメージして学習カードを作成することが必要だと改めて感じた。また、学習カードを端末上で保存することができれば、生徒にとって後で見やすいものになるのではないかなと思う。しかし、屋外の授業ではタブレット等の使用は屋内よりも制限がある場合があり、難しいことも考えられる。それぞれの実践で成果と課題が挙がっている。最後に、これらをまとめて、学習カードの作成にあたって意識するポイントとして提案したい。

- (1) 振り返りは短く・簡潔に書かせる。(穴埋め方式はおすすめ)
- (2) 目標設定や振り返りの材料を資料として載せ、生徒が見られるようにする。
- (3) 必要に応じて、仲間からのアドバイスを目に見える形で残すことができるようにする。